

平成26年度 「石狩市教育委員会外部評価委員会」 会議録

1. 日 時 平成26年10月28日(火) 15:00~16:30

2. 会 場 石狩市役所 201会議室

3. 出席者

氏 名	役 職 等	備 考
村瀬 千檉	元北海道教育大学教授	委員長
漆 恵子	石狩ユネスコ協会 事務局長	副委員長
伊井 義人	藤女子大学 人間生活学部人間生活学科 教授	

事務局 (15名)

生涯学習部長 百井 宏己

生涯学習部次長 武田 淳

生涯学習部参事 千葉 則理

総務企画課長 蛭谷 学俊

学校教育課長 安崎 克仁

教育支援センター長 西田 正人

教育支援センター特別支援教育担当課長 森 朋代

社会教育課長 東 信也

文化財課長 工藤 義衛

学校給食センター長 成田 和幸

市民図書館副館長 丹羽 秀人

市民図書館副館長 板谷 英郁

厚田生涯学習課 熊谷 隆介

総務企画課主幹 東 薫

総務企画課総務企画担当主査 高石 康弘

4. 傍聴者 なし

5. 議事要旨

～ 閉会 ～

蛭谷総務企画課長

本日はお忙しい中、お集まり頂き誠にありがとうございます。それでは、ただ今より、平成 26 年度石狩市教育委員会外部評価委員会を開催致します。

会議の開催にあたり、生涯学習部長よりご挨拶申し上げます。

～ 生涯学習部長挨拶 ～

百井生涯学習部長

こんにちは、現在は、国においては教育制度の改正が行われているところですが、本市教育行政においては、教育プランを羅針盤として行ってきており、その基本計画の前期が今年度で終了し、新たな基本計画が来年度からスタートします。一方、市の総合計画も来年新しくなります。また、来年は、1市2村の合併から10年、再来年は、市制施行から20年という節目を迎えます。

委員の皆さまに評価頂く内容は、昨年度のものであり、今年度は既にいろいろな事業が動いています。頂いた意見等についても、長いスパンの中でも検討もさせて頂きたいと思います。

3年間の委嘱期間の中で、誠心誠意お力添えを頂いていることに感謝を申し上げます。また、貴重な時間を割いて頂きありがとうございます。そのような中でいただくご意見ですので、大切に参りたいと思います。

～ 委員長挨拶 ～

村瀬委員長

皆さんこんにちは、今年もよろしくお願ひします。私も退職していますので、今は、現職の先生方と月1回の勉強会が楽しみです。今回は、外部評価委員という機会を与えて頂いて感謝しています。年に1回の貴重な機会と思っていますので忌憚のない意見をよろしくお願ひします。

～ 議題 ～

村瀬委員長

議題の「教育委員会点検・評価報告書（平成 25 年度分）案について」事務局よりご説明願ひします。

総務企画課高石主査

皆さんこんにちは、総務企画課の高石です。本日、皆さまのご意見を頂く対象となります、「教育委員会の点検・評価報告書」の概要を説明致します。

構成は、大きく分けて、2つあります。1つ目は、「教育委員会の活動状況について」です。教育長を含めた5名の教育委員の活動は、教育委員会会議での審議などを中心としています。その他にも、教育現場の実態把握やさまざまな場面での意見交換な

ど、多様な活動をしています。これらの活動については、2ページから7ページに記載しています。2つ目は、「教育に関する事業について」です。教育プランにおいて、大項目として位置付けた11本の施策の推進方針の中で、その中項目、または小項目ごとに、関連のある成果指標を示し、「取組状況」・「分析評価・方向性」の順に記載し8ページから39ページにまとめています。

また、ポイントを絞って点検評価を行うため、教育プランの成果指標のほか、42ページ以降の巻末に資料を付けています、該当年度の教育行政執行方針、該当年度の主要な施策の成果、これらについて、関連する施策等についての点検評価を行っています。

以上で「教育委員会の点検・評価報告書」概要の説明を終わります。

村瀬委員長

今、事務局から説明がありましたが、進め方としては、大項目ごとに、また、全体にわたるものは最後に、皆さまから事前に頂いているご意見などを伺いながら、「点検評価報告書に記載する意見」を決めて行きたいと思います。

本委員会は審議会ですので、発言はすべて議事録に残ります。また、「点検評価報告書に記載する意見」については、すぐに対応できないものについても、翌年度以降も検討対象として、教育委員会として常に受けとめてもらっています。

それでは、さっそく、議事に移りたいと思います。

1. 教育委員会の活動状況について

伊井委員

(No.1) 会議の開催頻度や訪問先を見ても、臨時会議も含め、精力的に活動されていると思います。ただし、気になったのが、年度初めはコミュニティ・スクールに関して、将来構想的な議題も上がっていたようですが、それも次第に少なくなる感があります。ぜひ、小中一貫校など、そのような議題は中長期的な視野で議論する必要があると感じます。

村瀬委員長

来年4月から、抜本改正された教育委員会制度がはじまります。いろいろな意味でまちづくりなど首長部局との一層の連携が必要です。教育関係者の間では、ふるさと学習やまちづくりと一体となった学校の特色を出すことが求められています。いわゆる教育委員会と学校の一体化の中でもそうでしたが、総合教育会議の中でも、これからも一層進めて頂きたい。この点、今までも行っているところと思いますが、教育委員の研修なども一層深めて頂きたいと思います。

蛸谷総務企画課長

コミュニティ・スクールや小中一貫校については、定例会議の場での取扱は確かに

少ないですが、研修の機会としても毎月1回教育委員の勉強会を開催し、会議に向けての協議のほか、様々な教育課題などについて委員が課題を持ち寄り、事務局も含めて情報交換、意見交換などを行っているところであり、その中で学校のあり方なども意見交換等しています。今後、コミュニティ・スクールや小中一貫校など、新しい学校運営のありかたについては、活発なやりとりが行われるものと思っています。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【教育委員会会議】

○コミュニティ・スクールや小中一貫校など、将来構想的な議題については、中長期的な視野をもった議論の継続を期待する。

2. 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性～

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

漆副委員長

(No.2) 私は、生きる力につながる確かな学力を育む教育のきっかけづくりをいつも考えています。科学の祭典に3年間お付き合いさせて頂きましたが、親子が参加する事業はあまり多くはないなか、長時間にわたって子どもと一緒にあって関わられる事業の姿勢はすばらしいと思います。常々、理科的な教材は、勉強を面白くするきっかけとなると思っていますし、今後も学習意欲が高まる面白い授業（特に理科など）の工夫に努めてほしいと思います。

(No.3) 毎年、特に小学校13校を何回か回るのですが、学校で本を持って子どもが歩いたり、学校の正面に学校図書館があったり、そういう面では、かつてより学校図書館利用は定着の方向にあり、子どもが子どもらしく本に接していると感じるので、更なる充実を望みます。

伊井委員

(No.4) ICTについては、石狩市においては先進的な取組事例として他市町村からも評価されています。現在の状況を維持する取組を続けて頂きたいのですが、一方で、それを有効に活用しているのかを検証する時期に来ています。検証や取組なども含めて、素晴らしい教育が石狩にあることを市民にも積極的に広報するべきと考えます。

(No.5) 学校図書館の整備については、蔵書数、貸出数など数値的な評価はもちろん重要です。それだけではなく、どのように教員が利用しているのか、また事例があれば共有するという視点が必要であり、図書館を効果的に利用する教員の増加など、実質的な分析をすべきではないかと思えます。

村瀬委員長

(No.6) 児童生徒の学力向上のために、学校が授業改善や補充的指導、書画カメラ（実物投影機）の効果的活用等に、引き続き努力することを期待します。9月に、ある札幌

市内の学校に行きまして全クラスを見てきたのですが、実物投影機を固定し、コードを束ね、置き方も決めるなど、その規律は見事なものでした。昔も投影機はあったのですが、今はとても進歩しています。目で見える理解はとても大事なので、効果的な授業、学力向上に努めてほしいと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【学力】

○児童生徒の学力向上のために、学校が授業改善や補充的指導、書画カメラの効果的活用等に、引き続き努力することを期待する。

【ICT教育】

○ICTの環境整備について、現在の状況を維持する取組を続けてほしい。

○ICT活用の検証をする時期に来ており、検証や取組などについて、市民への積極的な広報を期待する。

【学校図書館】

○学校図書館の整備については、数値的な評価だけでなく、どのように教員が図書館を効果的に利用し増加しているかなど、実質的な分析を期待する。

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

漆副委員長

(No.7) 特別支援教育については、感想を述べにくい部分でもあるのですが、携わる方々の総合的な教育力や専門性、実践的な体験などが必要とされることが多いと思います。そういったことから、携わる方々の研修しやすい環境を充実するなどの支援を引き続き望みます。

伊井委員

(No.8) ICTのところと同様なのですが、特別支援教育については、非常に充実した環境が現在の石狩市にはあるということ、市民に知って頂くことはとても大切なことだと思います。現在の環境整備を維持して頂き、また、それらの効果を広報などで周知することにより、一層、市民の理解が深まると考えます。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は特になしと決定された。)

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

漆副委員長

(No.9) 奨励プログラムの充実を望みます。

(No.10) 開かれた学校は、人の出入りだけがオープンではなく、学校ならではの特色など

がホームページで閲覧できることも重要だと思います。学校が近くになくても情報が得られ、望ましいことだと思います。

(No.11) ホームページの内容の有用性が大事で、学校の特色をオープンにし人々の関心を集めることが大事だと思います。校章、学校の歴史など、その学校ならではの情報を、基本としてしっかりと発信して、それを基本に、学校の特色を加えて発信してほしいと思います。

最近では、学校が増えたり減ったりすることもあり、石狩でもそのようなことがあるようです。学校が「あった」り、「ある」ということは、子どもたちのふるさとづくりであり、地域づくりであり、いろいろな意味で地域の遺産でもあります。学校の中にあるものはとても大切であり、地域が学校を知ることとても大切だと思います。学校そのものの歴史が常にホームページの中にあることは、大事なことだと思います。

村瀬委員長

学校の特色をオープンにするということは、石狩で学んだことや郷土に誇りを持った人材を育てる、そういった意味も込めて、大切な事だと思います。

伊井委員

(No.12) 市教委主催の研修会で得た知見を、学校に戻り、他の教職員に広げていくことも、研修の効果を高める上で重要だと考えます。全体的な意見として、学校教育分野、社会教育分野に関わらず優れた実践事例の共有できるシステムの構築を期待します。

先程より市民に対する広報ということで発言しましたが、もうひとつは、教員が市内で実践されている優れた事例を知っているか、ということでの広報が必要だと思います。サマーセミナーやウインターセミナーなどで優れた実践事例を紹介し、研修で学んだことを学校に戻って他の教職員に広めていくことによって、研修の効果が高まると思います。

村瀬委員長

花川小学校で行われている学校力向上に関する総合実践事業でもそうですが、1つの優れた実践がその学校に留まらず波及することは、とても大事なことだと思います。

(No.13) アナフィラキシーショックや誤嚥の対処法など、危機管理に関することは、全教職員が即対応できるように期待します。

安全安心が第一であり、特に神経を使って行くべきだと思います。アナフィラキシーショックの症状が出た際に数分後には処置が終わっていて、校長が知ったときには処置が終わっていた。そのくらい素早い対応が必要で、実際にそんなことも例としてあります。ノロウィルスの対応でもそうです。全教職員が一層、油断せずやることが大事だと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【開かれた学校づくり】

○学校ホームページは内容の有用性が大事であり、校章、学校の歴史など、その学校な

らではの情報を、基本としてしっかりと発信してほしい。それを基本に、学校の特色を加えて発信してほしい。

【教職員研修（危機管理）】

○アナフィラキシーショックや誤嚥などの危機管理に関することは、全教職員が即対応できるよう期待する。

施策（大項目） 4 学校教育を推進する環境の充実

漆副委員長

(No.14) 通学路途中の公園、街灯の点検を町内会にも呼びかけ、更に安全な環境づくりを望みます。最近、特に環境整備として、街灯整備や木を切るなど、力を入れて頂いていると思います。花川地域も既に造成から30年以上経った団地です。木なども伸びているので、注意を払う必要があり、見守る地域の方々からも子どもが見えやすい環境を望みます。

伊井委員

(No.15) 子育てへの不安を払しょくするため、放課後の活用等、子育て支援課などとの部局を超えた取組を、今以上に推進してほしいと思います。

(No.16) 地産地消の割合を高め、各教科とも連携しつつ、石狩市ならではの食育を実施することを期待します。石狩産食材の使用状況を見ても改善の兆しが見えますので、これを利用したうえで一層、食育を推進してほしいと思います。

村瀬委員長

(No.17) 不審者対応については、体験型の訓練や、日常的に指導を行うなど、更なる充実に期待します。

不審者は、北海道内で1月から8月482件、去年は122件の発生で今年はおよそ4倍といえます。道路での発生は7割で358件、時間帯は3時から4時まで215件ということです。何が起こるか分からない時代なので、きめ細かく対応しなければいけないと思います。不審者が前に立ち声をかけられた時には、子どもはすぐんで動けない現状や体験型の訓練などが先日NHKで放送されていました。ランドセルを引っ張られた時はどうする、手を掴まれた時はどうするとか、訓練をすることが大事で、また、そこまでしないと心配な時代になっています。

また、全道のPTAの広報を見せて頂いたなかで、母親と一緒に歩いて、どこが一番危険かを調べて作ったマップがありまして、これはすごい取組だと思いました。このような取組も含めて、常に緊張感を持って、取り組んでほしいと思います。

蛸谷総務企画課長

子育て支援課などとの連携ですが、今後は総合教育会議の場も含め、双方向で市長部局との意見を交わすなど連携が更に図られていくものと考えています。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【子育てに関する不安解消】

○子育てへの不安を払しょくするため、放課後の活用等、子育て支援課などとの部局を超えた取組を一層推進してほしい。

【危機管理（不審者）】

○不審者対応については、体験型の訓練や、日常的に指導を行うなど、更なる充実を期待する。

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

漆副委員長

(No.18) パートナースクールは、子どもたちもドキドキして体験しているだろうと思います。この交流事業は良いことだと思います。

(No.19) いじめのポスターは、視覚的にインパクトもあり、良いと思います。ポスターは人の心に訴えていかなければならないものなので、貼る場所も、大事な場所に効果的に貼って頂いていると思います。

伊井委員

(No.20) 委員、3年目ともなると、いろいろなところに目が行ってしまいます。「感動」した児童生徒の割合という成果目標ですが、考えてみれば少し「目標誘導」的なニュアンスがあり、一つのプログラムに全ての子どもが感動するかどうか、目標としてもどうかというところは吟味して行かなければならないと思います。必ずしも特定のイベントで、全員が「感動」しなくても良いのではないかと思います。子どもたちの多様な感性が見えるような指標があってもいいのではないかと感じました。

(No.21) いじめに関しては、引き続き、減少傾向を維持する取組が続くことを期待します。

村瀬委員長

確かに感動は強制するものではなく、無意識に入ってくるものだと思います。美唄の小中学校での絵画や彫刻の鑑賞授業を見に行ったのですが、小学生はその場で感動していましたが、中学生はその場では表情はあまり変わっていませんでしたが、後で感想文を見ましたら、かなりの生徒が感動していることが判りました。子どもたちは年齢によって表現も違います。また、教員の感性も大事で、子どもたちはそれに触発されることもあります。教員にも子どもにも心に染み込む機会を与えることは非常に大事だと思います。

いじめについては、全国的な事件があった時など大きく影響があります。波がありますが、奢らず、惰性にならず、油断せず取り組んでほしいと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は特になしと決定された。)

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

漆副委員長

- (No.22) スポーツの正しい技術・ルールをしっかりと学習させて頂くためにも、地域の指導者の更なる活用を望みます。スポーツを旗印としている石狩市の子どもたちですので、ぜひ、正しい・綺麗なラジオ体操を身につけてほしいと思います。
- (No.23) ハーブ系の薬物などへの認識を持たせるよう、更なる働きかけを望みます。中学校を卒業する前ですとか保健体育の時間に、危険度を認識させるよう取り組んでほしいと思います。
- (No.24) 市民皆スポーツの更なる推進と体づくりへの望ましい食生活の習慣、特に朝食については大事なことだと思います。キレたり、イライラしたりするのは、カルシウムが足りない。朝食をしっかりと食べないと、すぐ頭に血がのぼったり、眠い、だるい。そういうことも考えて、PTAでデータを集めたことがあり、やはり、朝食を食べていない子どもが多かったので、カルシウムを摂取しようとして広報委員会でやったことがあります。望ましい食生活について、特に家庭にPRを望みます。

伊井委員

- (No.25) 冬期間の体力向上に向け、スキーSATなどの取組も含め、ぜひ、今後も積極的に活動して頂きたいと思います。体力については北海道全体が低いので、石狩市だけではないのですが、特に冬季間は、工夫をして、取り組んでほしいと思います。
- (No.26) 食育DVDは昨年制作されていますが、とかく教育関係のDVDは魅力的でないこともあるので、子どもたちのみならず、家庭にも魅力的なものを作ってほしいと思います。
- (No.27) 特に中学生のスマートフォン所有・利用などについては、今後考えていく必要があると思います。学生と話をしていると携帯といっても反応が悪く、既に死語になりつつあります。携帯とスマホではいろいろな意味でポテンシャルが違うので、今後はスマホに特化して、統計作業等も行うのがいいのではないかと思います。

村瀬委員長

食育や薬物乱用防止でもDVDがありますし、食育については教育大学もホクレンなどと協力して行っています。そのような情報なども共有できたら良いと思います。

また、点検評価報告書の28ページに、普段、1日当たりどれくらいの時間インターネットをしますか、という質問に対して3時間以上と答えた児童生徒の割合とありますが、このインターネットという言葉は、この表現がいいかどうかも含めて、教育プラン改定の中で検討してもらいたいと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【体力】

○冬期間の体力向上に向け、スキーS A Tなどの取組も含め、ぜひ、今後も工夫し、積極的な活動を期待する。

【望ましい生活習慣】

○特に中学生のスマートフォン所有や利用状況などについては、今後、統計作業等の推進も考えていくことを期待する。

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

漆副委員長

(No.28) 子どもを育てて行くには、親に限らず、地域の力がとても大切。町内のパトロールの支援が活発化していて、時間通り、しっかり声を出してやって頂いている。この活動の灯を消さないように、もっと若い方も入って頂きながら、やって行ければ良いと思います。

(No.29) ノーベル平和賞受賞は「子どもの権利」に関する学習を進める良い機会です、身近な事柄として活用されることを望みます。子どもたち自ら、自分たちの持っている可能性についてどのようにして気付くのかということで、これをモデルとして良い学習ができたと思います。

伊井委員

(No.30) 児童生徒の登下校の安全確保は、必須事項だと考えます。学校や保護者、関係機関の情報共有・連携などを、一層推進してほしいと思います。

村瀬委員長

本当にそう思います。ある学校では、子どもの帰った時刻がICタグで記録として残っていたりとか、インターネットを活用し、家に着いたことを学校も確認したりする事例もあります。逃げるとか連絡するとか、子どもたち自身も大事ですが、地域のパトロール、大人の目も非常に大事だと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【子どもを見守るシステムの確保】

○児童生徒の登下校の安全確保は、必須事項だと考える。学校や保護者、関係機関の情報共有・連携などを、一層、推進してほしい。

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

漆副委員長

(No.31) 学び交流センターでの取組事業について、更なるPRを望みます。今年、市民文化祭で、学び交流センターの子どもたちの作品が南コミセンのブースで見ることがで

き、ほっとしました。学び交流センターの中でどういう活動があり、それを発信する一歩を踏み出したことに感動しました。もう少し、学び交流センターでやっている案内のチラシなどガイダンスがあればもっと良かったと思います。

(No.32) シニア事業の対象世代のパワーを、自らの学びのみではなく、経験知識なども含めて、もっと地域づくりへ活用してもらいたいと思います。何かもらったらありがとうと返す。食べ物を頂いたら、おいしかったねと返す。生涯の楽しみを得ているのなら、そんなお礼の気持ちで、何かしようかなという気持ちが、ずっとつみあがって行けば良いと思います。元気なパワーを地域への貢献に引き出すきっかけづくりをしてほしいと思います。

(No.33) また、社会教育関係団体への支援拡大も望みます。

伊井委員

(No.34) 確かに、高齢化・若い世代の共働きが進むと、時間的な余裕がなくなります。そのような状況の中でも、ぜひ、幅広い世代に対して、学ぶ楽しさ・気軽さがアピールできる環境を推進して頂きたいと思います。たとえ、参加実数が減少しても、何かあれば、参加できる「機会」を保障し、維持・整備しておくことは大切だと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【生涯学習】

○シニア事業の対象世代のパワーを、自らの学びのみではなく、経験知識なども含めて、もっと地域づくりへ活用してもらう仕組みやきっかけづくりを期待する。

施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

伊井委員

(No.35) 利用者数・貸出点数が、増加するよう魅力的な取組がなされることを期待します。この年度のブックリスト配布や宅配サービスなどは、非常に魅力的な取組だと思います。どの程度利用されているのか、あまりわからないのですが、これらに関する市民への一層の周知を期待します。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は特になしと決定された。)

施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

漆副委員長

(No.36) 市民文化祭は素直に楽しませてもらった一人です。展示部門はすっきりして出展者の思いも伝わり良かったと思いますが、特に舞台部門では、文化祭は市民文化祭であって、文化協会の発表会ではないのではないかと思います。市民は、高齢者

だけではなく、子ども、大人、全てだと思いますが、今の発表は高齢者の文化団体での発表が多いと思います。

中学校では、学校文化祭はたった1日だけしかありませんが、合唱コンクールは結構あります。合唱コンクールで受賞した学校がそれを発表してもらえたら、市民文化祭も一味違うと思います。そうすると、若いお父さんお母さんも来るのではないかと思います。最後のフィナーレも抽選会の時だけ人は来ますが、市民文化祭は、ちょっとそういうことから外れるのではないのでしょうか。フィナーレとしては、部門賞や奨励賞など励みにつながる文化的要素をもったものがあると、うれしいかなと思います。抽選には当たったのですが、市民文化祭がこれでよかったのか、もう一度振り返り問い直すことも必要ではないのでしょうか。ととても難しいのはよくわかりますが、今の方向のままでいいのかな？と思います。

村瀬委員長

学校も入って市民文化祭を行う市町村もあります。

伊井委員

(No.37) アートウォーム併設のカフェは素敵ですね。イベントで感じたことをカフェで語り合い、それを通して、市民個人間の社会的なネットワークも拡大できるような取組をぜひ、続けて行って下さい。本流の文化奨励と同時にゆるやかな文化のネットワークも必要だと思います。ゆるやかな社会的ネットワークを形成するうえで、カフェは非常に有効な手段だと思います。こういった視点を取り入れてほしいと思いました。

村瀬委員長

アートウォームでの書道展に私も行きました。ぜひ、文化形成の活性化も進めて行ってほしいです。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【市民文化祭】

○市民文化祭はとても楽しいが、今後は、成果を認め合い、多様な世代の市民の励みにつながり、また、より文化的な要素を持ったプログラムの検討を期待する。

施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実

漆副委員長

(No.38) ふるさとを学び伝える事業のひとつとして、石狩の人・モノ・場所などのカルタの作成をしてはいかがでしょうか。私は石狩にかれこれ40年近く生活をしていて、石狩市の南北80キロ近くをしょっちゅう走っていますが、石狩はいろんな要素を持ったまちだと思います。学校や図書館などで気軽に子どもたちが触れることができればい

と思います。きっちりとした商品的なものではなくていいのですが、まずオリジナルなものを作って行けばいいと思います。いろんな事を子どもたちも学べて、地域の方も改めて地域を見直せますので、作り方によっては色々な要素があると思います。

伊井委員

(No.39) 伝統文化等の映像記録についても、もちろん、DVDなど図書館等に置いてあるとは思いますが、市民に対する積極的な広報を期待します。

(No.40) 非常に多彩な講座が実施されていることは間違いないと思います。開催場所や広報手段など、参加者が増加する取組をぜひ、続けてほしいと思います。また、特に中学校をどう取り入れて行くのかは課題だと思いますが、市内小中学校との連携を、一層、推進して頂きたいと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【ふるさと】

○ふるさとを学び伝える事業のひとつとして、石狩の人・モノ・場所などのカルタの作成（石狩ファイルの活用も視野に）を期待する。

【文化財資料の収集等】

○伝統文化等の映像記録についても、市民に対する積極的な広報を期待する。

村瀬委員長

それでは、11の施策項目が終わったのですが、全体を通して、何かありますか。

伊井委員

(No.41) 3年間委員をさせて頂いて改めて気付くこともあったのですが、既に目標に到達した数値目標もありますが、数値目標を変えるのはもちろん難しいとは思いますが、それに対して柔軟な取組といますか、新たな数値を示すなど、現状に合わせた説明が必要なかなと思いました。

(No.42) 石狩市には、優れた教育実践事例が学校にも社会教育施設にもありますので、それを上手く共有され、誰でも知ることができるようなシステムの構築を期待します。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【全体】

○優れた実践事例の共有できるシステムの構築を期待する。(学校教育分野、社会教育分野に関わらず)

～ その他 ～

村瀬委員長

それでは、その他で何かありますか。

村瀬委員長

では、私からですが、教育行政執行方針で「教育委員会が自ら積極的に情報を発信し、保護者や学校、地域との共有・連携を図り、より一層、透明性の高い教育行政を遂行できるよう、弛まず努めて参ります。」とありますが、これは本当に大事なところだと思います。学校も組織力がないとやっていけないところですが、これに、スピード、組織、を加えて、今後、改定される教育プランを実行して行く中でも、透明性を意識してほしいと思います。

百井生涯学習部長

回答ではないのですが、頂いたご発言に対して、事務局から発言させて頂きたいと思います。

千葉参事

(施策(大項目) 6 関連)

インターネットに関する指標については、26年度より、全国学力・学習状況調査の質問項目が変わりまして、1日当たりどれくらいの時間携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネットをしますかと新たな項目が入りました。市教委もそれに合わせた対応も考えて行きたいと思います。

(施策(大項目) 6 関連)

ラジオ体操については、4月から正しいラジオ体操への取組をしている学校があります。また、その学校で11月13日に、テレビに出ている方が学校に来て指導をする、かんぽ生命の出張事業があります。

西田教育支援センター長

(施策(大項目) 5 関連)

いじめに関しては、認知件数は25年度27件、24年度68件、23年度44件と、数値的には上がったり下がったり、世間を騒がす事件があると動きがありますので、昨年もお指摘のあったとおり、数値に一喜一憂することなく取り組みたいと思います。

また、ポスターについても、おほめの言葉を頂きありがとうございます。えてしていじめの取組は暗いイメージもありますが、今後も学校での未然防止の取組は、児童生徒が主体となる継続した取組みをなるべく明るく楽しく、やって頂けるようお願いしていきたいと思います。

安崎学校教育課長

(施策(大項目) 1 関連)

ICT環境については、25年3月に提言頂いた方向性で、着実に推進して行きたいと思います。また、教職員については、研修内容を学校全体で共有する中で、児童生徒へ成果を還元して行きたいと思います。

(施策(大項目)3 関連)

アレルギー、アナフィラキシーショックへの対応ですが、エピペン[®]は市内4校に必要な子がいます。この点については、サマーセミナーなどでも、本気で研修して意識も持って頂けるよう取り組んでいるところです。

東社会教育課長

(施策(大項目)5 関連)

情操教育に関する指標ですが、感動は、強制するものではないというのは全くそのとおりと認識していますが、行政としては、指標化も一つの責務と考えていますので、この指標は、多く子どもたちに、という趣旨とご理解頂ければと思います。引き続き、情操プログラムの充実に努めて行きたいと思います。

(施策(大項目)8 関連)

学び交流センターのPRについてですが、平成26年度に初めて、市民文化祭実行委員会の協力のもとで実施できました。ご指摘を踏まえて、星置養護学校を含めて、更に学び交流センターを地域に理解頂けるよう工夫して行きたいと思います。

(施策(大項目)8 関連)

シニアパワーの活用についてですが、はまなす学園は歴史もあり、始まった当時は、長寿社会への対応ということで、外へ出て学んで頂くということが主旨でしたが、時代が変わるとともに、学んだ成果の活用ということが求められるようになりました。最近、民謡の団体が子どもたちの前で披露をしているなどの動きもあるので、そのような活動が広がるよう、取り組んで行きたいと思います。

(施策(大項目)10 関連)

市民文化祭は、現在は実行委員会スタイルということで、代表を文化協会会長にお願いし市教委は事務局ということで、ある程度年数が経過しています。以前は、市教委が全て用意していましたが、現在は、市民手作りを合言葉に今の形になり、参加料、広告料など予算も自分たちで確保するなど取り組む中で、抽選会のアイデアも出て、今に至ります。抽選会が本筋ではないとはいえ、実際に多くの方に来場して頂いている状況にはあります。いつまでやるのか、というところは議論があるところですので、ご指摘の部分は、文化祭の反省会の機会にでも実行委員会にお話もさせて頂きながら、より広く市民の方に参加頂ける文化祭に取り組んで行きたいと思います。

村瀬委員長

疑問に思っていた部分も解決したのではないのでしょうか。それでは、これで議事を終了します。皆さまのご協力に感謝いたします。

～ 閉会 ～

蛸谷総務企画課長

ありがとうございました。本日の審議につきましては、事務局にて整理し、委員長

のご確認のもと、議事録としてご報告させていただきます。

また、点検評価報告書につきましては、本日頂きましたご意見を掲載し、11月の教育委員会会議に諮った後、報告書を最終的に決定し、議会に報告、市民に公表したいと存じます。

以上で平成26年度石狩市教育委員会外部評価委員会を閉会します。本日はありがとうございました。

(16:30 終了)

平成26年11月 7日会議録確定

石狩市教育委員会外部評価委員会
委員長 村 瀬 千 樫